

東庄町の行政改革

提言書

第1回

平成18年3月

東庄町行政改革委員会

提 言 書

私たち委員 8 名は、平成 1 8 年 1 月 1 7 日から平成 2 2 年 3 月 3 1 日まで東庄町長から、東庄町行政改革委員会の委員を委嘱されました。今まで、2 回の会議を開催し、現時点における委員会の意見をまとめましたので、次のとおり提言します。

記

- 1、 提言としての各項目については、委員会において審議すべきものと判断したものであります。今後も会議を開催し、検討を重ねてまいります。

(1) 職員の定数について

職員の数、計画を立て、更に削減を目指して努力すべきである。

出された意見等

・役場は半分くらいの職員でやっていけないのではないか。民間では、給料の高い人が退職すれば、安い人を 2 人雇えるという考え方である。職員削減については、定年の退職を待つだけでなく、早期の退職も更に進めるようにしてほしい。

(2) 人件費の削減について

更に人件費の削減について努力すべきである。

出された意見等

・職員の定数にも関係するが、人件費をカットした場合、サービスの低下が懸念される。民間委託をうまく使ってほしい。
また、人材に切れ目がないようにしてほしい。

(3) 民間委託について

出来る限り民間委託を推進すること。

出された意見等

・民間委託を出来る職種については、退職者の補充はしないこと。

- ・民間委託をした場合と、現在臨時職員等で対応している経費を検討してからとすること。
- ・職員で出来るものは、状況を見て、民間委託を行わず委託料を削減する取組みも必要である。

(4) 各種団体の補助金等について

経費削減の理解を得て見直しを図ること。

出された意見等

- ・一律何%削減という方法より、全く無くすべきものもあるのでは。
- ・査定を厳しくすべきである。民間の現状が良くなったのは、売上げが伸びているわけではなく、支出を抑えた結果であることを考えてほしい。

(5) 職員の仕事について

外部から見ていると、仕事をしていない職員がいる。

出された意見等

- ・「行政は最大のサービス業」という町長の言葉を忘れないように。
- ・矢祭町では、職員全員がトイレ清掃をしている。職員がそのような事をする事により、町民の意識（経費削減）も変わる。
- ・ボランティアとして、職員と一緒に仕事出来るような制度があればいいのでは。

(6) 税の徴収について

税の公平負担の原則から、更に徴収率の向上を図り、町税収の確保に努めるべきである。

出された意見等

- ・地方交付税は減る。税収は上がらないということで、税金はきちんと徴収すること。

(7) 人口増、税収を上げる町づくり

どこにも負けないもの、町の特徴として強いものを作ってほしい。

出された意見等

- ・観光資源として、天保水滸伝、イチゴ狩り、相撲等があるがPR不足である。
- ・宅地化しやすい町づくり、土地開発が必要。
- ・滞在型農園、花のイベント等人集めが必要。
- ・町づくりは、人づくりである。

(8) 議員定数・報酬について

町の財政を考慮し、町議会の議員定数・報酬について、町民意識に沿った削減努力が必要である。

出された意見等

- ・要望として、定数は有権者1000人当たり1人位と思うが、議会構成等から15人程度が良いと思う。
- ・要望として、報酬カットについては、10%位が良いと思う。
- ・要望として、議員定数問題特別委員会で定数について、審議していると思いますが、次の選挙から削減するにしても、町民には早く公表してほしい。
- ・要望として、報酬については、次の選挙からではなく、自発的に早期対応してほしい。

(9) 農業委員会委員の定数について

町の農業状況等を考慮し、農業委員会の委員の定数について削減する検討をしてほしい。

出された意見等

- ・削減するのはよいが、農業のおかれている状況、各地区の担当範囲等を検討する必要もある

平成18年3月10日

東庄町行政改革委員会

会	長	鈴木	正昭
委	員	寺嶋	良子
委	員	菅谷	重行
委	員	箕輪	浩
委	員	鹿子田	賢三郎
委	員	平野	剛
委	員	宮崎	一彦
委	員	宮内	義雄